

学生および教職員のインフルエンザ患者数の増加と注意喚起

保健管理センター 住田安弘

本年1月になり、インフルエンザの感染者数が急激に全国に拡大してきました。三重県でも、1月10日の週に北部（桑名市管内）で感染者が増加していましたが、17日以降、四日市、津をはじめ、松阪、伊勢管内でも感染者数が増加してきました。現在、桑名、四日市管内には「警報*」が、その他の地域には「注意報*」が発令されています。現在の津保健所管内の定点患者届出数は**26.27**であり、まもなく警報が発令されそうな状況です。今シーズンの特徴は、昨シーズンと異なり、**20～49歳**までの人に感染者が最も多いことです。学内でも1月15日以降、教職員に感染者が増加しています（2/4 現在職員**25**名、学生**33**名）。また特定の部署に固まって発生している傾向も認められます。今一度、以下の項目を遵守して頂き、インフルエンザ感染を蔓延させないよう、学生諸君ならびに教職員一同のご協力をお願い申し上げます。

1. 家族にインフルエンザ感染者が出た場合、感染拡大に対し厳重に注意する。
2. インフルエンザ様症状のある時は、無理をして出勤しない。
3. インフルエンザと診断された場合は、自宅で休養する。
4. 解熱しても2日間は出勤しない。
5. 体調不良時にはマスクを着ける。
6. 手洗いやうがいを励行する。
7. 咳エチケットを守る。
8. 部屋の換気に努める。

【注】

警報*、注意報*：定点医療機関（県内**72**施設）における1週間のインフルエンザ患者届出数の平均が**10**を越えた場合に注意報が、**30**を越えたら警報が発令される。